

米でチャリティー出店

北加福島日系人会、売り上げ金寄付



本県の子どもたちのためチャリティーイベントに出店したワペンスキー英子会長（右）と鈴木あゆこさん

島キッズカリフォルニアのプロジェクトリーダー・ジュンコ鈴木パインズさんのバンドの演奏などが披露された。来場者は日本の様子や同機関が支援している国々の料理を堪能し、文化交流を楽しんだ。

福島日系人は会長のワペンスキー英子さん（郡山市出身）が手作りのルームシューズや化粧ポーチ、バッグ、帽子、ネックレスなどを出店し、販売した。地元サンマテオのカウンティフェアで優勝している質の高い作品で、多くの来場客が買い求めた。売上金は全額、国際大使婦人機関を通じて、東日本大震災・東京電力福島第一原発事故で被災した本県の子どものために寄付される。

サンフランシスコ在住の会員鈴木あゆこさん（猪苗代町出身）がワールド県人会を通して福島民報社にイベントの様子を伝えた。

米国カリフォルニア州の北加福島日系人会は二十三日、同州サン・ロレンゾのエデン・ジャパニーズ・コミュニティセンターで開かれたチャリティーイベント「We Care! 2014」に出店し、手作り品などを販売した。益金を本県の東日本大震災ふくしま子ども寄付金に贈る。

イベントを主催した国際非政府組織（NGO）の国際大使婦人機関はロシア、ウガンダ、ネパール、フィリピン、ベトナム、日本で活動し、社会的・経済的に困難な状態にある女性や子どもを支援している。今年夏には「福島キッズカリフォルニア」というプロジェクトで本県の高校生二人を

サンフランシスコへ招待し、カリフォルニアの大自然と文化、食を紹介した。チャリティーイベントでは同機関会長兼CEOの満知子コンウェイさんがあいさつし、和太鼓、古代文字を書くパフォーマンス、福



福島県の復興支援をアピールする手作りのルームシューズ